

# 和地ひとみレポート No.335

東大和市実施計画（令和2年度～令和4年度）

やるべき主要事業のためには財源確保が必要



## ■実施計画とは

…東大和市は、第二次基本構想に定める将来の都市像「人と自然が調和した生活文化都市 東大和」を実現するため、長期施策を体系化、計画化して基本計画を策定しています（現在は第四次基本構想）。この第四次基本構想に掲げた目標を達成するための事業と新たな行政需要に的確に対応することを目的として行う事業の中で、優先度の高い事業や継続実施が求められる事業のうち主要なものを選定し作成されるのが実施計画です。

…実施計画はその期間を毎回3年度として作成されますが、各計画を達成するためには予算が関わることから、予算との整合性を図るとともに、社会・経済情勢などの変化に弾力的に対応していけるように毎年度見直しが行われています。

…先週、今年度の見直しを行ったうえで作成された「東大和市実施計画（令和2年度～令和4年度）」が発行されました。この実施計画の内容構成は、「主要事業」と「市財政の現状」の二部構成になっており、現在、市がどのような事業を優先順位が高いもの＝主要事業としているのか、また、市の財政状況がどうなっており、今後の見通しを市がどう考えているのかなど、この計画を読むことで分かります。

## ■今回、新たに追加された事業は

…実施計画は、第四次基本構想の分野別体系に基づいて「主要事業」が整理して書かれており、これらの主要事業については、今後の予算編成の指針とされます。

…また、上記の通り、実施計画は毎年見直しを行うため、今回は、昨年度策定した実施計画の調査を行ったうえで「目標達成など一定の効果が図れるまで継続実施する必要があると判断した事業」については、事業内容の見直しを図った上で主要事業とし、また、政策的に取組む必要があると判断した新規事業（原則、1事業の事業費が単年度で100万円以上、3か年で300万円以上）が新たに追加されています。

…一方、毎年度予算編成の中で考慮すべき事業については除外されているほか、昨年度以前から継続している事業で経常的経費によりレベルアップをするものについては増額分のみを経費として計上しているとのこと。

…今回発行された実施計画で新たに主要事業として掲載されている分野別の事業は右記の通りです。

（事業ごとに明記した事業費は3カ年＝令和2年～令和4年の合計金額です。）

### ◇1章：豊かな人間性と文化をはぐむまちを築くために

#### 【学校教育の充実】

- ・部活指導員配置（1,879万2千円）
- ・スクールサポートスタッフ全小中学校配置（5,706万円）
- ・小学校体育館空調設備設置（5億2,252万2千円）
- ・中学校体育館空調設備設置（4億1,091万9千円）

### ◇2章：健康であたたかい心のかよいあうまちを築くために

#### 【高齢者保健福祉の推進】

- ・在宅サービスセンター外壁改修及び屋上防水（きよはら）（1,937万7千円）
- ・認知症健診推進事業（1,949万4千円）

#### 【障害者福祉の推進】

- ・障害者地域生活支援拠点等の整備（5,513万1千円）

#### 【児童福祉の推進】

- ・民間保育園新設（南街地区）（7億812万4千円）
- ・民間保育園新設（清水地区）（5億4,549万6千円）
- ・民間保育園新設（谷里保育園分園）（1億3,700万1千円）
- ・医療的ケア支援：訪問看護師派遣（441万円）
- ・保育士確保支援（2億3,676万円）
- ・東大和市立学童保育所運営委託（5億9,953万8千円）

### ◇3章：暮らしと産業が調和した活力あるまちを築くために

既存事業のみで新規はなし

### ◇4章：環境にやさしく安全で快適なまちを築くために

#### 【市街地の整備】

- ・下水道事業経営戦略策定（特別会計）（822万8千円）
- ・公共下水道事業計画の変更（特別会計）（960万円）
- ・雨天時浸入水対策事業：調査（特別会計）（960万円）

#### 【良好な住宅環境の形成】

- ・空き家対策計画策定（654万6千円）

#### 【道路・交通の整備】

- ・市道952号線外1路線整備（1,100万円）
- ・市道323号線舗装補修（4,800万円）
- ・市道8号線ブロック積み擁壁点検（630万円）
- ・市道3号線伏越部排水管清掃（330万円）
- ・舗装補修計画策定：路面性状調査（2,610万円）

#### 【防災・防犯体制の推進】

- ・IP無線導入：消防団員用無線機更新（996万円）
- ・公共下水道雨水整備事業（特別会計）（6,530万円）

#### 【環境の保全】

- ・電気自動車の導入（1,525万円）

### ◇5章：相互の理解と協力に支えられるまちを築くために

既存事業のみで新規はなし

（裏面に続く）

## ◇行財政運営

### 【効率的でスリムな行財政運営の実現】

#### 以下「窓口業務民間委託」

- ・住民基本台帳事務(2,816万2千円)
- ・マイナンバーカード交付事務(2,816万2千円)
- ・戸籍事務(2,816万2千円)
- ・国民年金事務(2,199万7千円)
- ・課税管理事務(6,201万1千円)
- ・国民健康保険事務(特別会計)(5,865万7千円)
- ・後期高齢者医療事務(特別会計)(2,932万9千円)

## ■続く財政難…

…今回の実施計画に計上された主要事業に係る費用は

令和2年度:121事業 (42億5,460万円)

令和3年度:104事業 (30億8,799万9千円)

令和4年度:100事業 (29億1,671万円)

3カ年合計:124事業 (102億5,930万9千円)

※各年度の事業が重複するため、3カ年の合計事業件数は各年度の件数の合計とは一致しない。

…そして、この実施計画に示されている市の財政状況については、下記のコメントが書かれています。

→当市の財政状況については、平成30年度決算における経常収支比率は前年度比0.5ポイント増の94.4%となり、ここ数年間、増加傾向にあり、財政の硬直化が進んでいる。また、今後の少子・高齢化社会の進展に伴う財政需要の増加や公共施設等の老朽化対策を考慮した場合、市財政を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続くことが見込まれる。

→経常的な財政収支の見通しと、主要事業計上金額(令和2年度から4年度まで)を歳入と歳出それぞれに振り分けた財政収支の見通しでは、この計画の3カ年で、約59億6,900万円の財源不足が見込まれる。

…上記のコメントからも、東大和市は“特別な取組をしない行政運営に必要な費用＝経常収支が全体の97.4%も占めており、何か特別な取組をするゆとりがない”こと。そして、優先順位の高い必要な事業を十分に選別した結果でも、これらの事業を行うには約59億円の費用が不足する見通しということがわかります。

## ■財源確保の取組みは？

…市は行政改革を進めていますが、その主な取組みは「市税などの収納率の向上や私有地の売却などによる歳入の確保」と「民間活力導入の推進や事務管理経費の縮減による歳出の抑制」です。

…今回発行された実施計画に掲載されている平成30年度の主な財源確保の取組みについてみると、様々な取組みをした結果、効果額は3億6,073万4千円とのこと。経常経費と主要事業費の3カ年の合計では59億円以上の財源不足が見込まれている中、30年度の取組みで実現した効果は3億円強。今までと同様の取組みを継続しても、年々、その効果は鈍化して

いくことは予想できます。万が一、平成30年度と同じような効果を発揮したとしても、年約3.6億円×3カ年で約10.8億円しか効果は期待できず、59億円の不足には及びません。

## 【30年度の財源確保の取組み】

平成30年度における効果額の合計は360,734千円

- ・市税の収納率の向上 97.5%  
(目標96.6%、前年度実績97.2%)効果額37,017千円
- ・国民健康保険税の収納率の向上 83.2%  
(目標78.8%、前年度実績81.5%)効果額35,091千円
- ・介護保険料の収納率の向上 96.7%  
(目標96.3%、前年度実績96.2%)効果額7,527千円
- ・保育料の収納率の向上 98.0%  
(目標95.7%、前年度実績97.7%)効果額1,180千円
- ・市有地の売却(5,485千円)
- ・負担金、補助金等の見直し  
(当初予算比較△7,147千円)
- ・需用費、役務費、使用料及び賃借料等の見直し  
(当初予算比較△18,626千円)
- ・各種業務委託の見直し(当初予算比較△42,510千円)
- ・特別会計繰出金(基準外繰出金)の抑制  
(△206,151千円)
- ・財政調整基金の積立  
(平成30年度末残高2,461,958千円)

※市税、国民健康保険税、介護保険料、保育料の収納率の向上の効果額は、平成30年度と同じ調定額と仮定し、平成29年度の収納率で算定した金額との比較。

※特別会計繰出金(基準外繰出金)の抑制は、国民健康保険事業特別会計における財政健全化の取組による効果額(△96,770千円)が含まれる。

…30年度の取組みを見ても、各種収納率の向上＝100%が上限なので、限りがある。様々な料金の見直しや委託料の見直しなども非常識な金額の設定は出来ないので限りがあると感じます。

## ■今までとは違うということ

…「少子高齢化の進展」や「公共施設等の老朽化対策」「市民ニーズの多様化に伴う新たな行政課題」など、この計画の中で示されている市の認識は今に始まったことではありません。人口も経済も右肩上がりだった時代と同じ感覚では、今後、行政サービスの維持向上は困難な時代になっています。

…市も民間活力の導入や様々な行政サービスに対する受益者負担という考えを進めていますが、民間活力の導入を進めた場合、人件費などは減っても、委託料が計上される物件費は上がります。ただ、国の政策に伴う取組みについては補助金が出るが多いため、市も機を逃さずに民間委託などの新たな取組みを進めているように感じますが、それでも財源は足りないように思います。

…個々の取組みを時代にあった形に変えていく＝旧態依然のやり方を見直すと共に、優先順位の低い事業も厳しく見る必要があります。将来を見据えて＝ツケを未来に残さないという姿勢で行財政運営を行う必要性がますます高まっていると思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>  
✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546  
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102